

良友

良二君と良き友に

県議会議員田中良二後援会だより

第 7 号

〒895-0027

薩摩川内市西向田町 6-32 サンビル 5F

TEL 0996-22-1011

FAX 0996-22-1088

夢に向かって改革発展

県議会だより (6 月議会)



○配合飼料の値上がり～食料とエネルギー問題について抜本的国策の必要性

次の3件が、日本の地方にまで、経済不況の致命的な悪影響をもたらしています。

1. サブプライムローン（アメリカの住宅金融政策）の失敗
2. マネーゲーム化した原油の値上がり
3. 建築基準法の改正による新規住宅着工の落ち込み

特に、原油の値上がりに連動する「トウモロコシのバイオエタノール燃料へ転換」によって、輸入依存の配合飼料は1トン4万3千円が、わずか1年半で2万円（50%）も値上がりしました。

5月25日には「畜産危機突破大会」が開催され、6月県議会でも活発な質疑がありました。

今回、国費738億円の財源補てんがなされますが、年度始まりの緊急措置であり、根本の議論として、外国の政策に対抗できる食料、飼料とエネルギーの日本の強い自給体制を作るべきと考えます。



(東郷町)

○知事の退職手当の減額

本県の厳しい財政状況を踏まえ、知事の給料は25%減額中ですが、今期4年間に係わる退職手当を20%（約840万円）減額する条例が可決されました。

○産廃処分場に関する陳情採決

長年の県政課題である公共関与型産業廃棄物最終処分場について、6月県議会で陳情案件が採決されました。（市議会でも6月議会で採決されました。）

※本件については、後日、総括して報告します。



田中県議からの提言

こんな政策・構想の提言をしています

【東シナ海のガス田開発】 本年3月議会で構想提言

最近の県政、国政の議論は「数字と制度の切りきざみ」の感があり、以前から長期展望、未来の夢に向けた知事への提言を考えていました。

「国境を持つ鹿児島県を、東シナ海の海底資源の開発拠点、海上輸送の中継基地にしては」との提言をしました。

※なお、6月18日、日中両国政府がガス田「しらかば」と「あすなる」周辺の共同開発に合意したとの発表がありました。これからも国際的アンテナを張り巡らせていきます。

※夏の県政報告会 ～ 8月10日（日）18：00から （太陽パレス、会費：千円）

委員会だより

文教商工観光労働委員会から ～ 田中県議は、こんな質問をしています

○学校施設の耐震調査と補強工事を

高校の建物の 70%が、『耐震性の第2次診断』が終了しているとの答弁でした。

中国四川省大地震、岩手・宮城内陸地震の被災状況からしても、本年度を含めて建築の最優先事業として調査と工事に取組むよう強く要請しました。



コミュニティだより



【樋脇の相撲】

樋脇町では野下、藤本、市比野の各地区で伝統的な相撲行事が開催されています。

5月5日こどもの日には、市比野小学校で荘厳な土俵祭もあり、五穀豊穡を祈る神事の中には「日本の美」が感じられました。

また、豆力士たちの奮闘ぶりを見ると、相撲はじめ日本の武道教育が今こそ必要であると思いました。

話 題

【新鑑真号の寄港】

4月23日「日中友好の船・新鑑真号」が川内港に52回目の寄港（乗船者113名）をしました。私（田中）も20年前の3便目から10年以上、集客の仕事をしました。久々に新鑑真の雄姿を目の当たりにして胸に迫るものがあり、また重要港湾川内港の重要性を再認識しました。



県議会一口メモ

- 「議員定数等検討委員会」
定数等の見直し検討のため、今年中に「参考人招致」を行い、県内各界の代表者から広く意見を聞くことになりました。
- 田中県議の座席
傍聴席から議場の正面を見て、最前列の左から3番目です。（伊藤知事の対面です）

～笑い・ユーモア～

母ちゃんタクシー

○鹿児島市での懇親会のとき、先輩県議から、「田中県議は新幹線通勤で便利ですね、駅から自宅までは何で帰るんですか？」

「はあ、鹿児島～川内間は12分の新幹線ですが、川内駅から山奥の自宅までは遠いもので、毎晩『母ちゃんタクシー』と契約しています。」

「エッ、それは、どこのタクシー会社ですか？」
○川内駅から自宅までは片道12km、奥さんが軽自動車で夜中に駅まで出迎えに来るのが常である。年中無休で走り続けている田中県議にとって車中が、貴重な夫婦の会話の時間でもあります。

○なお、政務調査用の愛車は1300cc、運転手は本人で、走行距離14万kmを超えています。

